

単元名 (旧)わすれられないあの時(絵)

配当時間

6時間

- 単元の目標 (1) その時の気持ちが伝わるように、材料や用具の使い方を工夫することができる。
 (2) 心に残ったことの様子を思い出しながら絵に表したい場面を考えることができる。
 友達と絵
 を見せ合いながら、表したかった場面やその時の気持ち、表し方の工夫について話し合い、感じ
 取ることができる。
 (3) 生活の中で心に残った場面やその時の気持ちを楽しみながら絵に表そうとする。

標準的な展開例

04080112_001

【準備等】画用紙、色画用紙、パス、水彩用具一式、クレヨン、色鉛筆、サインペン、デジタルカメラ

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 今までの生活の中で、心に深く残っていることを思い起こして、そのときの気持ちを発表し、構想を練る。</p> <p>○生活を振り返り、心に深く残っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこで…学校や家 ・だれと…友達、上級生、下級生 ・どんなことを…ドッジボール、遠足 ・どんな気持ち…楽しい、うれしい <p>★心に残っていることを絵で表そう</p> <p>○スケッチを数枚かいて、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単なスケッチ <p>2～5 スケッチを基に、表現する計画を立て、工夫しながら絵をかく。</p> <p>○スケッチの中から一つに決めて、友達に人物の動きのポーズをとってもらい、表現の参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の動き ・表情 <p>○スケッチを基に、下絵を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物 ・周りの様子 <p>○工夫しながら色をぬる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の量 ・筆づかい ・混色 ・重色 <p>○全体の色の調子を整えながら、作品を完成する。</p> <p>6 印象に残ったことを話し合い、友達の作品を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いをみんなの前で発表する。(言語活動) ○友達の作品のよさをみんなで話し合う。(言語活動) 	<p>・教科書3・4下 P.24, 25</p> <p>・普段の生活の様子を話し、具体的にイメージができるようにする。</p> <p>・具体的な様子が分からない児童は、文章で表現することで、イメージを明確にさせてもよい。</p> <p>【評】心に残っている生活場面を思い起こす活動を通して、「造形への関心・意欲・態度」を評価する。</p> <p>・自分が大きくかけているものや周りの様子がよく分かるものを選ばせる。</p> <p>・スケッチの段階で、教師は児童の思いをよく理解し、表現の工夫の支援をする。</p> <p>・友達にモデルをやってもらうことにより、人の動きをとらえさせる。</p> <p>・デジタルカメラでポーズを撮影して、絵の資料としてもよい。</p> <p>・自分が一番表現したいものを中心にして、そのときの表情や動きをとらえさせる。</p> <p>・表現の方法については、水彩絵の具だけにこだわらずに、クレヨンや色鉛筆を使うなど、いろいろなかき方を認めていく。</p> <p>【評】表現方法を工夫し、用途に合わせて描画材料を組み合わせる活動を通して、「創造的な技能」を評価する。</p> <p>・テーマ別に並べるなど展示を工夫する。</p>

【 備 考 】